

学習指導要領		都立清瀬高校 学カスタンダード
A	ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。	<p>幅広く調べた内容を整理して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて話すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的に問題になっている事柄などについて、調べたり取材したりした内容を基に、自分なりの考えをもつことができる。 ・明確な論拠に基づき、反論を想定しながら自分なりの考えを話すことができる。
	イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。	<p>目的や場に応じて、データなどの具体的な資料を用いながら、分かりやすく適切な言葉で話したり、要点を押さえて聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告や発表などの機会に、何のために誰に向かって話すのかを考えて、必要に応じてデータなどの具体的な資料を用いながら言葉を選んで話すことができる。 ・報告や発表などの機会に、要点を押さえながら、話し手の考えや主張を聞き取ることができる。
	ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。	<p>相手の立場を理解し、相手の考えを踏まえて自分の考えを説明し、司会者や提案者などそれぞれの役割に応じて円滑な話し合いを行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス内のグループ討議などで、相手と自分の立場や考えの共通点や相違点をとらえ、相手の考えの根拠を理解し、それらを生かして自分の考えをまとめることができる。 ・司会者や提案者などそれぞれの役割に応じて、話し合いが円滑に進むように、話の構成や展開、言葉遣いなどを考えて話すことができる。
	エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	<p>自己評価や相互評価を自分の話し方や言葉遣いに生かし、話し手の多様な思いや考えに気付くことができる。</p>

学習指導要領		都立清瀬高校 学カスタンダード
B 書く こと	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の工夫を考えて書くこと。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いにおける相手や目的、場に応じた言葉遣い、態度、論の構成・展開の仕方など、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘し、それぞれに込められた思いや考えに気付くことができる。 <p>書く相手や目的についてじっくりと考え、自らその目的に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の体験やそれに基づく考え、身近なことなどから目的に応じて題材を選び、材料を収集したり選択したりすることができる。 常体と敬体といった文体を相手や目的に応じて使い分けることができる。 複数の語句や言い回しの中から題材や文章の形態にふさわしいものを選択することができる。 <p>論理の構成や展開の仕方について具体的に理解し、明確な論拠に基づいて自分の考えを文章にすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 「序論－本論－結論」、「頭括式・尾括式・双括式」などの文章構成の型を踏まえながら、600～800字程度の文章を書くことができる。 反論を想定しながら、明確な論拠に基づいて自分の考えをまとめることができる。 <p>説明や描写それぞれの部分を意識的に書き分けるなど、相手や目的、場に応じた適切な表現の工夫で書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 事実や事柄などを読み手が理解できるように正確に説明したり、そこに至る手順や理由などを論理的に説明したりすることができる。 情景や人物、心情などを、表現技法などを用いて、読み手が想像しやすいように描写することができる。

学習指導要領		都立清瀬高校 学カスタンダード
<p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>		<p>他者の優れた文章に触れ、それに対する評価を通して、感じ取った事柄を自らの表現に生かし、他者の多様な思いや考え、ものの見方に気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自の視点、豊かな発想や緻密な論理構成・展開の仕方など、良い点・直すべき点を指摘することができる。
<p>C 読 む こ と</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p>		<p>【現代文】</p> <p>それぞれの文章のジャンルや形態に応じた表現技法や語句の意味や用法、使い方の工夫などに注意しながら読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩法を理解し、文章中の比喩について説明できる。 ・小説の表現や韻文のリズムを、音読・暗唱などを通して味わうことができる。 <p>【古典】</p> <p>量・難易度とも中程度の文章について、文章の形態の違いを理解し、表現技法や語句の使い方の工夫をとらえて読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文節や単語など区切りに注意して音読することができる。 ・物語・随筆・日記・和歌などのジャンルの違いを理解して、それぞれの作品を読むことができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返り点などの漢文訓読の基本的なきまりに従って音読することができる。 ・漢詩の形式や押韻、対句を指摘することができる。
<p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p>		<p>【現代文】</p> <p>文脈をとらえ、注意すべき語句や表現を押さえながら、筆者の考えなどを読み取ったり、指定された字数で要約したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関わりにおいて指摘することができる。 ・文章中の指示語の内容や接続詞の働きを理解して読むことができる。

学習指導要領	都立清瀬高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p>・筆者の主張を抜き出すことで各段落を要約したり、字数など指定された条件に従って全体を要約したりすることができる。</p> <p>【古典】 量・難易度とも中程度の文章について、文法など主要な文語のきまりや返り点などの訓読のきまりに注意しながら、語句や表現に即して読み取ることができる。 《具体的な設定例》</p> <p>古文 ・用言の活用・助動詞の意味や接続、基本的な助詞の用法・敬語表現、係り結びの法則、掛詞や縁語といった和歌の修辞などを理解して、文章を読み取ることができる。</p> <p>漢文 ・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解して、文章を読み取ることができる。</p> <p>【現代文】 登場人物の行動や言動を通してその性格、心情の変化、ものの見方、感じ方、考え方をとらえることができる。</p> <p>情景描写から登場人物の心情を読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》 芥川龍之介『羅生門』などで ・登場人物の行動や言動を通して、その心情と変化を読み取り、説明できる。 ・文中の比喩表現などから登場人物が置かれている状況や心情をとらえて説明できる。</p> <p>【古典】 量・難易度とも中程度の文章の場面や人物を押さえ、行動や心情を読み取ることができる。 《具体的な設定例》 古文 『伊勢物語』『芥川』などで ・人物（行動や心情）、情景（場面、状況、風景）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。</p>

学習指導要領		都立清瀬高校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・和歌に込められた男の心情を理解する。 <p>漢文</p> <p>杜甫「登高」などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・描かれた人物、場面、時代や場所、状況、出来事、情景を読み取ることができる。 <p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果を指摘したり、書き手の主張や目的をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各段落の働きを押さえた上で、段落相互の関係を読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章構成の型を指摘したりすることができる。 ・情景や登場人物の心情の変化をたどり、作品全体の筋を理解してそれを説明できる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法を理解してそれを説明できる。 ・書き手の主張や意図を読み取ることができる。
<p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>		<p>様々なジャンルや形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、目的に応じて活用したり、自分の考えを深めたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なジャンルや形態・幅広い内容・分野の本や文章を、書店や図書館だけでなく、インターネットなど幅広い方法で入手し、読むことができる。 ・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り、目的に応じて活用することができる。 ・読んだ文章を理解し、それを評価することを通して、その文章に表れた書き手の多様な思いや考えに気付くことができる。
<p>伝統的な言</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p>		<p>日本の伝統的な言語文化について主要な事柄を知り、また外国の文化の影響を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の朗詠・贈答の慣習、文学理念、三大集、歌物語

学習指導要領		都立清瀬高校 学カスタンダード
<p>語文化と国語の特質に関する事項</p>	<p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p>	<p>などについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な古典常識（月の異名、十二支、古時刻・古方位、年中行事）や価値観（結婚観や宗教観など）について理解する。 ・ 中国の文字や書物の影響のうち主要なもの（故事成語、漢詩など）について理解する。 <p>主要な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的仮名遣い、用言の活用、助動詞・基本的な助詞（「ば」など）の意味・用法、係り結び、敬語表現、和歌の修辞などを理解する。 ・ 訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。 <p>【現代文】</p> <p>語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて主要な事柄を理解し、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について主要な事柄を認識し、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係を説明できる。 ・ 和語、漢語、外来語の区別やそれぞれの語感の違い、具体的な使われ方などを理解する。 <p>・ 言語の主要な機能を理解し、それが個人や対人的な領域だけでなく、社会的な領域で実現されていることを理解する。</p> <p>【古典】</p> <p>言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について主要な事柄を知る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読んだり、表記したりすることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な古今異義語（念ず、おどろく、あさましなど）の意味の違いを知る。

学習指導要領	都立清瀬高校 学カスタンダード
<p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p> <p>(ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>【現代文】</p> <p>文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて主要な事柄を知り、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分を理解し、照応関係に注意して文を書くことができる。 ・難易度が中程度の文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。 ・難易度が中程度の文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。 ・説明的文章に使用される語句のうち主要なもの（認識、感性、イメージ、メカニズムなど）の意味を理解する。 <p>【古典】</p> <p>古語辞典や漢和辞典を活用し、基本的な古語や漢語の意味を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な古語（つれづれ、わろし、あはれ、だに など）80 語程度の意味を理解する。 ・基本的な漢語（敢、乎、将など）40 語程度の意味を理解する。 <p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字 1006 字を含む 1600 字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。</p>